

2. 防災のこと

問い合わせ先…飛騨市役所総務部危機管理課

☎0577-62-8902

日本では、*台風・大雨・*大雪・*地震がたくさん起きます。これらを「災害」といいます。災害が起きた場合、まずは自分の体を守ることを優先しましょう。あなたの家が安全な場合は家の中にいてください。もし、家が危ない場合は、避難所(みんなが逃げるところ)に行きます。災害が起こる前に、準備しておくことを「防災」といいます。

台風、大雨、大雪などは事前に気象情報をチェックすることで自分の身を守ることができます。

(1)自分の体や家族を守るためにすること

災害がおきたときのために、飲み物や食べ物などを用意しておきましょう。飲み物や食べ物を買って、家においておきます。あなたが、いつもの生活で必ずいるもの(いつも飲む薬やパスポート、在留カード、洋服など)は、逃げるときに、すぐ持っていくために、最初に用意しておきます。

*ハザードマップで、あなたが住んでいるところや、働いているところの近くにある危ないところや避難所について、調べておいてください。

【ハザードマップ】



【用意しておくといいもの】

食べ物	カンパン、缶詰、レトルト食品、飲める水、ドライフード、チョコレートなどのお菓子
薬	ばんそうこう、傷薬、包帯、常備薬
貴重品	お金、パスポート、貯金通帳、印鑑、免許証など
その他	下着、衣類、タオル、雨具、靴、充電バッテリー、懐中電灯、ポリ袋など

(2)避難のしかた

災害によって、避難の仕方は違います。

【大雨・台風の場合】

→建物の中にいるときは、できるだけ高いところに移動しましょう。

外にいるときは、道路に水がたまる前に避難所へ移動しましょう。

【地震の場合】

→建物の中にいるときは、割れたガラスや家具が倒れてくることに注意してください。

そのあと、余震(大きな地震が起きたあとに続けて起きる地震のこと)に気を付けながら避難所へ移動しましょう。外にいるときは、地震で建物が崩れるかもしれないので、できるだけ広い場所に移動しましょう。

(3)避難所について

あなたの家の近くの避難所は、飛騨市防災サイトで確認してください。

(4)避難所での過ごし方

避難所には、あなた以外にも避難をしてきた人がいます。寝る時間には大きな声を出さないなど、まわりの人のことを考えた行動をしましょう。



【飛騨市防災サイト】